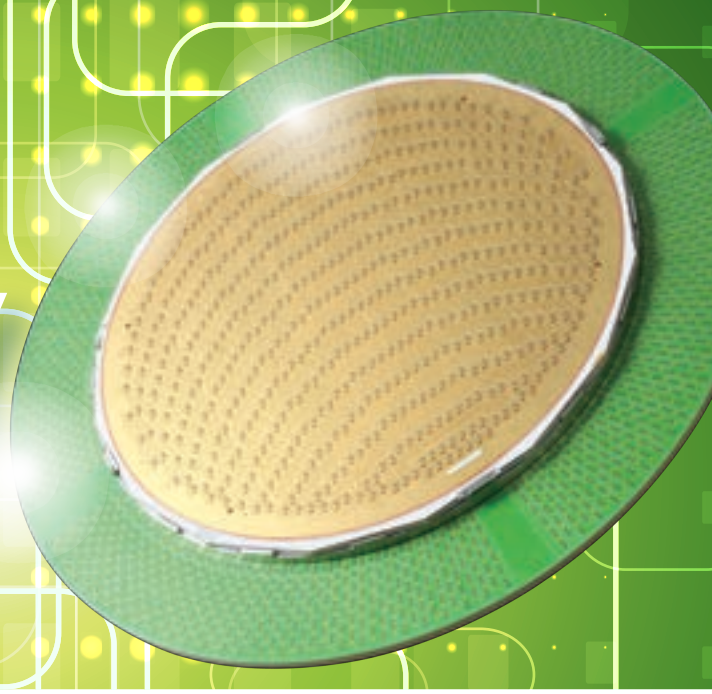
第58期 第2四半期のご報告

2016年4月1日～2016年9月30日

BUSINESS REPORT

JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

証券コード 6855

トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2016年度第2四半期連結累計期間（2016年4月1日～2016年9月30日）の事業の概況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

事業の経過及び成果

代表取締役社長 風間 悦男

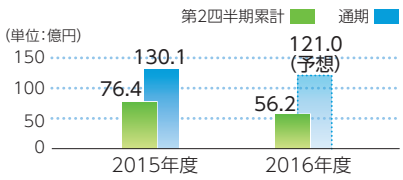
当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、データセンター向け需要の増加や、中低価格のスマートフォンの高機能化、及び市場拡大による需要の伸びがあったものの、パソコン需要の低迷やハイエンドスマートフォンの販売鈍化の影響等により、本格的な回復は遅れる状況で推移いたしました。一方で、高性能サーバー向け等、今後の需要拡大に備え、大手半導体メーカーでは、設備投資に対する意欲が改善しました。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、アドバンストプローブカードを中心に販売を進めました。その結果、売上面につきましては、ロジックIC向けの拡販が進んだこと等により、当第2四半期連結会計期間は回復傾向となったものの、需要の回復が遅れているメモリーIC向けの売上減少を補うまでには至らず、前年同期を下回る結果となりました。利益面につきましても、製品力の強化や製品開発を推し進める一方で、経費削減にも努めてまいりましたが、売上高の減少に加え、円高傾向も相まって厳しい結果となりました。

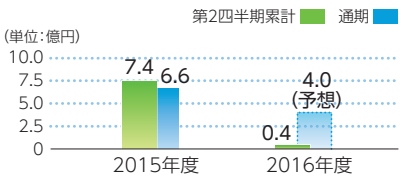
以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高56億2千7百万円（前年同期比26.4%減）、営業利益4千1百万円（前年同期比94.5%減）、経常損失5千7百万円（前年同期は経常利益6億9千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失0百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億3千7百万円）となりました。

業績の推移

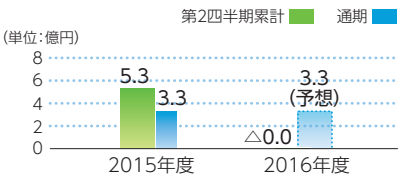
○売上高



○営業利益



○親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。日本電子材料株式会社は1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。

半導体の品質を支える。

スマートフォン、自動車、サーバー等多くの製品を支えている半導体。
当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を行っております。

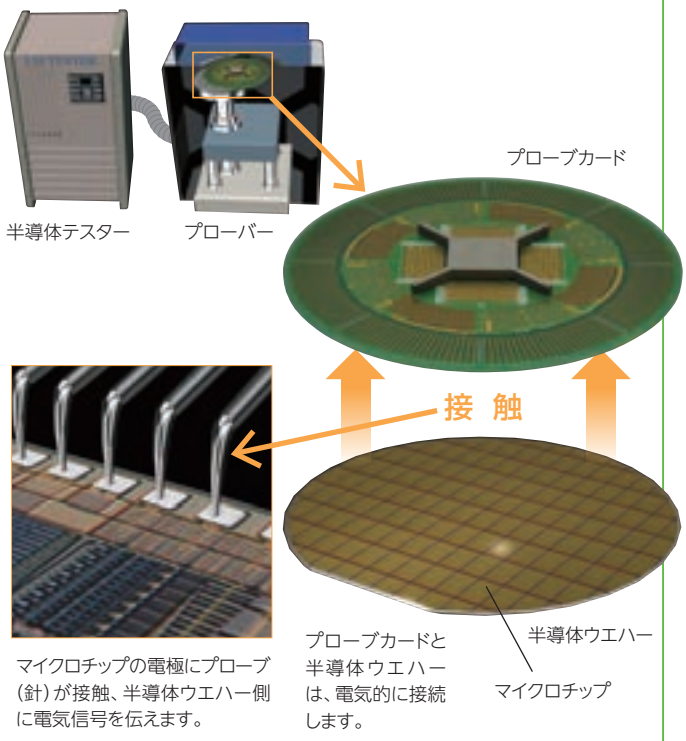
プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。

そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大数万本のプローブ(針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

そのため、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。

ウエハーテストのイメージ

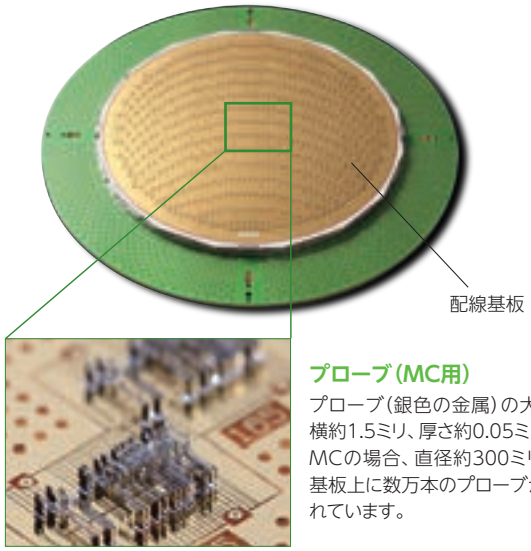


アドバンストプローブカード(Mタイププローブカード)

半導体ウエハー上につくられたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。スマートフォンにも搭載されているDRAM(ディーラム)やNAND(ナンド)型フラッシュメモリー等の検査に使われています。また、よりたくさんのプローブを搭載し高密度なプローブカードを生産するため、Mタイププローブカードには MEMS(メムス)と呼ばれる高度な技術も用いられています。

MEMS(メムス)製造(クリーンルーム)

Mタイププローブカード(MC)



プローブ(MC用)

プローブ(銀色の金属)の大きさは、横約1.5ミリ、厚さ約0.05ミリです。MCの場合、直径約300ミリの配線基板上に数万本のプローブが実装されています。

世界へ広がる生産・販売拠点

● 製造及び販売拠点　● 生産拠点

これまで、当社は先駆的に海外に生産・販売拠点を設けてまいりました。

近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、海外戦略の重要性が増しております。今後も当社は、アメリカ・中国・台湾・韓国・ヨーロッパの各拠点よりグローバルサポートを強力に推進してまいります。

Topic 平成28年度近畿地方発明表彰 地域協会会長賞受賞のお知らせ

当社が保有する、微細なプローブをプローブカードへ実装するための技術が、技術的に優秀かつ実施効果が高い特許であると評価され、11月28日に開催された平成28年度近畿地方発明表彰において地域協会会長賞を受賞しました。

地方発明表彰は、1921年に始まった公益社団法人発明協会が主催する顕彰であり、「その発明が地域産業へいかに貢献しているのか」という観点により、全国の優れた技術を8つに分けられた各地方で顕彰するものです。

当社は、半導体産業へ一層貢献できるように、今後も新たな技術開発を推進します。

特許内容

本特許の対象となった発明は、プローブカードへの正確かつ効率的な実装が要求される、微細なプローブの構造に関する提案です。

近年、微細化された半導体デバイスの検査に用いられるプローブカードには、例えば長さがmm単位、厚さが数十μm単位の微細なプローブが実装されており、この様なプローブは微細さゆえにプローブカードへ実装する際の取扱いが困難であるという課題がありました。

本発明のプローブは、実装チャックと呼ばれる装置により保持されるための凹部が側面に設けられたものであり、この構造によりプローブは容易に、かつ正確な位置へ実装され易くなっています。

当社は、2013年に日本において、この構造を第5235776号として特許取得しております。

株式事項

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,604,880株
株主数	5,945名

大株主

(2016年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
㈲大久保興産	1,266 千株	11.96 %
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	709	6.69
大久保和正	455	4.30
大久保英正	376	3.55
㈱三菱東京UFJ銀行	309	2.91
大久保昌男	290	2.73
古山陽一	260	2.45
日本マスタートラスト信託銀行㈱	256	2.42
日本電子材料社員持株会	204	1.92
明治安田生命保険相互会社	169	1.59

(注)持株比率は、自己株式(15,426株)を除いて計算しております。

役員

(2016年9月30日現在)

代表取締役社長	風間悦男
取締役副社長	大久保和正
取締役	大澤茂巳
取締役	足立安孝
取締役	森隆一郎
取締役	坂田輝久
取締役(社外)	吉田裕
常勤監査役	竹原克尚
監査役(社外)	田村耕一
監査役(社外)	濱田幸和

会社概要

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	983,100千円
事業内容	●半導体検査用部品(プローブカード)の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所市場第1部
証券コード	6855

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	日本経済新聞に掲載して行います。

(注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号
http://www.jem-net.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
UD FONT